

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】令和4年5月10日(2022.5.10)

【国際公開番号】WO2019/218932  
 【公表番号】特表2021-523594(P2021-523594A)  
 【公表日】令和3年9月2日(2021.9.2)  
 【出願番号】特願2020-560808(P2020-560808)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 4 8 / 0 8 ( 2 0 0 9 . 0 1 )

H 0 4 W 4 8 / 1 8 ( 2 0 0 9 . 0 1 )

【 F I 】

H 0 4 W 4 8 / 0 8

H 0 4 W 4 8 / 1 8

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年4月11日(2022.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つのコアネットワークまたは少なくとも1つのタイプのコアネットワークに接続できるネットワーク機器に適用される、情報処理方法であって、前記コアネットワークに対する第1指示情報を端末機器に送信することを含み、前記第1指示情報は、前記端末機器がターゲットコアネットワークのタイプおよび/またはターゲットコアネットワークを選択するのを支援するために使用される、前記情報処理方法。

30

【請求項2】

前記第1指示情報は、少なくとも1つのコアネットワークタイプ、少なくとも1つのコアネットワーク識別情報、各コアネットワークタイプに対応するパラメータ、または各コアネットワークに対応するパラメータのうち少なくとも1つを含む、請求項1に記載の情報処理方法。

【請求項3】

前記コアネットワークに対する第1指示情報を端末機器に送信することは、ブロードキャストシグナリングまたは専用シグナリングによって、コアネットワークに対する第1指示情報を送信することを含む、請求項1または2に記載の情報処理方法。

40

【請求項4】

前記方法は、前記端末機器によって送信されたコアネットワーク選択情報を受信することをさらに含み、前記コアネットワーク選択情報は、前記端末機器によって選択されたターゲットコアネットワークのタイプ、および/または、前記端末機器によって選択されたターゲットコアネットワークの識別情報を含む、請求項1に記載の情報処理方法。

【請求項5】

50

前記方法は、

前記端末機器によって選択されたターゲットコアネットワークのタイプに対応するコアネットワークに、サービス要求を送信すること、または

前記端末機器によって選択されたターゲットコアネットワークの識別情報に従って、前記端末機器によって選択されたターゲットコアネットワークを決定し、サービス要求を前記端末機器によって選択されたターゲットコアネットワークに送信することをさらに含む、請求項 4 に記載の情報処理方法。

【請求項 6】

前記コアネットワークのタイプは、第 5 世代 ( 5 G ) コアネットワーク、進化型パケットコアネットワーク ( E P C )、または第 3 世代 ( 3 G ) コアネットワークのうちの 1 つを含む、

10

請求項 4 または 5 に記載の情報処理方法。

【請求項 7】

端末機器に適用される、情報処理方法であって、

ネットワーク機器によって送信される、コアネットワークに対する第 1 指示情報を受信することであって、前記第 1 指示情報は、前記端末機器がターゲットコアネットワークのタイプおよび / またはターゲットコアネットワークを選択するのを支援するために使用され、前記ネットワーク機器は、少なくとも 1 つのコアネットワークまたは少なくとも 1 つのタイプのコアネットワークに接続できることと、および

前記コアネットワークに対する第 1 指示情報に基づいて、ターゲットコアネットワークのタイプおよび / またはターゲットコアネットワークを選択することと、を含む、前記情報処理方法。

20

【請求項 8】

前記第 1 指示情報は、

少なくとも 1 つのコアネットワークタイプ、

少なくとも 1 つのコアネットワーク識別情報、

各コアネットワークタイプに対応するパラメータ、または

各コアネットワークに対応するパラメータのうちの少なくとも 1 つを含む、

請求項 7 に記載の情報処理方法。

【請求項 9】

30

前記ネットワーク機器によって送信される、コアネットワークに対する第 1 指示情報を受信することは、

ブロードキャストシグナリングまたは専用シグナリングによって、前記ネットワーク機器によって送信される、コアネットワークに対する第 1 指示情報を受信することを含む、

請求項 7 または 8 に記載の情報処理方法。

【請求項 10】

前記コアネットワークに対する第 1 指示情報に基づいて、ターゲットコアネットワークのタイプおよび / またはターゲットコアネットワークを選択することは、

コアネットワークに登録する場合、前記コアネットワークに対する第 1 指示情報に基づいて、ターゲットコアネットワークのタイプおよび / またはターゲットコアネットワークを選択すること、

40

少なくとも 1 つのコアネットワークタイプのコアネットワークにサービス要求を送信する場合、前記コアネットワークに対する第 1 指示情報に基づいて、ターゲットコアネットワークのタイプおよび / またはターゲットコアネットワークを選択すること、または

少なくとも 1 つのコアネットワークにサービス要求を送信する場合、前記コアネットワークに対する第 1 指示情報に基づいて、ターゲットコアネットワークのタイプおよび / またはターゲットコアネットワークを選択することのうちの 1 つを含む、

請求項 7 に記載の情報処理方法。

【請求項 11】

前記ターゲットコアネットワークのタイプおよび / またはターゲットコアネットワークを

50

選択することは、

前記端末機器によってサポートされる特徴またはプリセットされた特徴に従って、1つまたは複数のターゲットコアネットワークタイプおよび/または1つまたは複数のターゲットコアネットワークを選択すること、

前記ネットワーク機器の第2指示情報に従って、1つまたは複数のターゲットコアネットワークタイプおよび/または1つまたは複数のターゲットコアネットワークを選択すること、または

事前定義されたルールに従って、1つまたは複数のターゲットコアネットワークタイプおよび/または1つまたは複数のターゲットコアネットワークを選択することのうちの一つを含む、

10

請求項10に記載の情報処理方法。

【請求項12】

前記方法は、

サービス要求を開始すると、コアネットワーク選択情報をネットワーク機器に送信することをさらに含み、前記コアネットワーク選択情報は、前記端末機器によって選択されたターゲットコアネットワークのタイプ、および/または、前記端末機器によって選択されたターゲットコアネットワークの識別情報を含む、

請求項9に記載の情報処理方法。

【請求項13】

前記コアネットワークのタイプは、第5世代(5G)コアネットワーク、進化型パケットコアネットワーク(EPC)、または第3世代(3G)コアネットワークのうちの一つを含む、

20

請求項7ないし12のいずれか一項に記載の情報処理方法。

【請求項14】

プロセッサと、プロセッサで実行可能なコンピュータプログラムを記憶するためのメモリとを備える、ネットワーク機器であって、

前記メモリは、コンピュータプログラムを記憶するために使用され、前記プロセッサは、前記メモリに記憶されたコンピュータプログラムを呼び出して実行して、請求項1ないし6のいずれか一項に記載の方法を実行する、前記ネットワーク機器。

【請求項15】

30

プロセッサと、プロセッサで実行可能なコンピュータプログラムを記憶するためのメモリとを備える、端末機器であって、

前記メモリは、コンピュータプログラムを記憶するために使用され、前記プロセッサは、前記メモリに記憶されたコンピュータプログラムを呼び出して実行して、請求項7ないし13のいずれか一項に記載の方法を実行する、前記端末機器。

40

50